令和2年度 上野学園大学短期大学部 遠隔授業アンケート 報告書

1. はじめに

本学では、コロナ禍での授業・レッスンを成立させるため、令和2年4月にオンライン環境の整備に取り組んだ。通信を介した双方向での授業・レッスンは多くの教員にとって、手探り状態で臨んだに等しい。そこで遠隔授業における達成度や満足度を測るべく、全学生を対象にアンケートを行った。学生の指摘・要望を分類し、コロナ収束後も授業の一形態として機能させていきたい。

2. 基本項目

日時 令和2年10月6日(水)12:00 メール配信(さくら連絡網アンケート機能)

令和 2 年 10 月 7 日(金)18:00 回答締切

対象短期大学部学生 全員対象人数76名(休退学者4名を除く)

回収数56名(回収率 74%)方法記名式アンケート

3. アンケート集計結果

【I】遠隔授業に満足していますか。

	人数	比率
1: そう思う・当てはまる	5	9%
2: ややそう思う・やや当てはまる	32	57%
3: あまり思わない・あまり当てはまらない	13	23%
4: 思わない・当てはまらない	4	7%
未回答	2	4%

[自由記述]

	件数
音楽の授業に遠隔は適さない	1
教員の熱意を感じる	1
授業間の差がある	1

【Ⅱ】遠隔授業で困っていることは何ですか。(複数回答)

	人数	比率
1: 教員・学生同士のコミュニケーション不足	26	20%
2: 授業によってばらつきを感じる	30	23%
3: 目や体の負担がある	31	23%
4: 課題が多くなってしまう	32	24%
5: 授業が理解しにくい	13	10%

[自由記述]

	件数
通信が不安定・タイムラグ・音質	3
教員の操作スキル	3
受講する環境	2
合奏できない	1
充実している	1

【Ⅲ】遠隔授業で良かったことはありますか。

	人数	比率
1: はい	45	80%
2: いいえ	7	13%
未回答	4	7%

[自由記述]

	件数
時間の有効活用	12
家にいられる・感染予防・ストレスフリー	6
授業が工夫されている	3
わからない	1
その他	1

5. まとめ

- 【Ⅰ】授業の満足度は、予想より高い。
- 【Ⅱ】困っていることについて各回答数がほぼ均一化しており、全般的な傾向と読み取れる。
- 【Ⅲ】在宅で授業を受けられる利点を挙げる学生が多い。

令和3年1月15日

FD 委員会